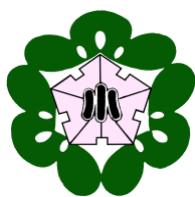


教育目標：よく考え 進んで学ぶ子 自分も友だちも大切にする子
正しく判断し 行動できる子 体を鍛え 最後までやりぬく子



学校だより

高松

令和5年5月1日 発行

立川市立第五小学校

校長 関口 保司

〒190-0011

立川市高松町1丁目12番25号

TEL 042-523-5238~9

042-523-5230 (こだま学級)

FAX 042-529-0854

HP <http://www.tachikawa.ed.jp/es05/>

出合い

副校長 上野 徹

本校に着任してからの1か月で、様々な学年・学級の子どもたちのさわやかな姿を目にすることができたので、そのいくつかを紹介します。

第五小学校で初めて出会ったのは、4月5日前日準備に集まった6年生でした。各教室への机といすの持ち運びから、翌日の入学式で新入生を迎える体育館や1年生教室の準備まで、半日みっちり働いてくれました。それぞれの会話や表情からは、小学校最高学年としてのクラスで過ごすことになる友達と担任の先生や、まだ見ぬ1年生との出合いを想像して、一様にわくわくしている様子がうかがえました。また、この日はもうひとつ。前日準備中、私が行くべき場所へたどり着けず、近くを通りかかった子に問いかけると、優しく案内してくれたのはこだま学級の6年生でした。

登校が始まってからは、1年生の昇降口で大きなランドセルを背負って少し不安そうに8時15分のチャイムを待つ新入生を前に、連日、6年生がとても上手に案内してくれました。きちんと膝を折りながら目線を合わせて靴箱の場所や靴のしまい方を教える子、中には、昇降口前の混雑状況を察知してか、とっさに「6年生1人 VS 1年生大勢」のじゃんけんゲームをすることで多くの1年生の視線を集め、全く混乱なく少しずつ前方へ交通整理をしてくれる6年生まで発見しました。まさに、大人顔負けのナビゲートでした。

そして通常授業が始まって教室内や廊下を見て回っていると、どの学年の子どもたちも挨拶の言葉を交わしてくれます。朝の挨拶運動の効果でしょうか。登校や下校時だけでなく、日中は「こんにちは」という声までかけてくれる子もいます。第五小学校の挨拶運動は、発足当時の高学年児童が発案したことからはじまったと聞いています。だからこそ価値の高い活動であり、全校で盛り上げて学校の伝統になってくれたらと思います。

この1か月で子どもたちと出合い、さわやかな姿を発見したことによって、我々がしっかりと子どもを育てていかなければと身が引き締まる思いになります。昨年度から引き続き勤務する教職員に、新任や転任者を加え、一丸となって取り組んでいきますので、どうぞ、よろしく願いいたします。

新しく「西校舎」が完成

先月末、西校舎の工事が完了して学校側へ引き渡しとなりました。工事期間中は、児童だけでなく保護者の皆様並びに学校近隣住民の皆様にも多くのご心配をおかけしましたが、ご理解とご協力をいただいたおかげで、ようやくこの日を迎えることができました。心より感謝申し上げます。

今後は、5月1日（月）と2日（火）で大半の引っ越し作業を終える予定です。そして2日（火）より、全学年が今年度の定位置となる教室での授業を始めます。当面は、西校舎を使用する2年生をはじめ、年度途中で教室移動がある児童が不安なく過ごせるよう配慮していきます。もし、ご不安な点や不明な点があれば、遠慮なく学校へご連絡ください。